

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こばんはうさくら 高坂駅前教室 保護者等数(児童数) 23 回収数 21 割合 91 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	4	0	1	もう少しゆとりがあるとありがたい ・日によって利用人数が変わって来るが、それでもスペースは十分と感じる	教室の大きさを要する事はなかなか難しいので、限られたスペースを上手に活用する。外出を伴う活動などを行い、窮屈さや不便を感じさせないように努める
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	17	0	0	4	子ども何人に対して職員が何人配置されているのか、職員の専門性などはよく知らない	職員の入替わりがある時は保護者様への都度の共有というのが難しかったが、今後は職員の職員の詳細共有をしっかりと行っていく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	16	2	0	3	・体験・契約時に訪れたのみで、施設の設備等についてはよくわからない ・視覚支援も沢山あり分りやすくなっていると感じる	教室施設の紹介などは体験・契約時にお話をすることでその後しっかりと共有を行う機会を作っていなかった。今後は会報などを通じ施設や環境設定のこだわりなども積極的に共有していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	19	1	0	1		原則その時に必要なもの以外はずべて倉庫などに収納しておくようにしており、都度必要なのは取りに行くようにする事で児童がその時やるべき事に集中できる環境作りを心掛けている。
適切な支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	21	0	0	0	・利用日ごとに申し送りのついでにヒアリングしてもらい、子どもへの対応を調整して頂いている	支援計画策定時のモニタリングだけでなく、利用時や送迎時などに保護者様と会う際は都度お子様の様子や保護者様の状況を聞くよう努めている。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	21	0	0	0		児童発達支援のガイドラインについての主旨を全体把握するよう職員さんには啓蒙し、個別支援計画や支援内の活動に組み込み具体的な支援内容に落とし込めるよう努めている。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	21	0	0	0		計画の更新などのタイミングで見直しと修正を行い、ご満足頂ける支援を目指し都度計画策定を行っている。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	19	1	0	1		毎日通所をする児童もいるので、できるだけ異なるプログラムを用意し児童が退屈しないよう工夫をしている。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	2	2	11	・特に必要とは思わない ・通所している幼稚園などに足を運んで頂いている	教室に幼稚園や保育園の先生が見学にお越し頂くケースが増えているので、さらに交流を深めて支援の様子やお子様の今後のビジョンなどもお話しを希望しています。
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20	0	0	1		契約時や報酬改定などのタイミングで必要なご説明を行っている。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	18	2	0	1		契約時や更新のタイミングで保護者様と支援内容の説明や目的・目標などを共有し、それに同意頂いた上で支援を行っている。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	10	3	2	6		保護者様のそれぞれの子育てに関するお悩みやお困りごとには都度ヒアリングをしリアドバイスをしたりしているが、ペアトの機会などは現状作れてはいない。今後は専門性を深めて保護者様へ知識を共有する場を創出していく。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	20	1	0	0	・連絡ノートや口頭で伝えてもらっている ・困っている事は送迎の際に相談に乗って頂いている	送迎時などに利用時の状況について保護者様にはきちんとした情報共有をできていると感じている。引き続き共有の徹底とお悩みやお困りごとのヒアリング、その解決に向け施策の実施などより深く行っていく。
保護者への 説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	1	0	0		定期的な個別面談会の機会を作り、保護者様それぞれの子育ての悩みやお困りごと、進路の相談などに乗るようにしている。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	16	3	1	1	・場は提供されているが、必要性を感じない ・参加した事ないため、どちらとも言えない ・時間があれば保護者会を増やしてほしい ・コロナ期間で開催が少なかった分、今後に期待したい	コロナウイルスやその他の感染症の流行により開催中止や延期などが相次いでいたので、今後は感染症等に注意を払いつつこれまで以上に開催頻度を上げて保護者様との連携を強化していきたい。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	20	1	0	0		保護者様から相談があった場合はできるだけ迅速かつ的確なアドバイスができるよう対応を統一化している。(児発管が一次対応を行い、対応が困難な場合は管理者が対応を行う、等)
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19	1	1	0	伝わらない事が多い	口頭でのやりとりが多い中で職員間の情報共有忘れや漏れがこれまで多くあったと感じる。今後はシステムなどを活用し情報共有の徹底を行い保護者様にもできるだけ迅速に正確な情報を伝達できるように努める
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	19	2	0	0		月に1度こばん通信という会報を公式LINE上で発信を行っている。 またHP経由で自己評価なども閲覧できるように体制を整えている。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	20	0	0	1		不要な個人情報等はシュレッターにて破壊するようにしている。 パソコンにはウイルスなどの漏洩リスクを抑えるソフトを導入して追加している。
非常時 等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	15	2	0	4		コロナウイルスのような感染症に対しての対応マニュアルや災害などの緊急時におけるマニュアルは用意しているが、保護者様も徹底周知できているわけではないので、詳細を詰めて周知を行っていく。訓練については定期的に災害を想定した避難訓練を実施している。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	1	0	5		定期的に災害を想定した避難訓練を行っており、様子については会報等を通して共有を図っている。
満足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	21	0	0	0	・帰ってくると、「あー楽しかった!」と毎回言っています ・とても楽しみにしている	更子ども達が楽しみながらも成長できる支援を提供できるよう職員の知識向上と教室体制の整備に努めている。
	23	事業所の支援に満足しているか	21	0	0	0	暖かくご支援頂きありがとうございます。	更に満足いただけるよう教室全体で様々な施策を考え、実施していきたい。

410 27 6 40 85%

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こばんはうすくら 高坂駅前教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	机の向きや職員の立ち位置等を工夫し、スペースの狭さをカバーしている。	
	2 職員の配置数は適切であるか	3	1	机の向きや職員の立ち位置等を工夫し、職員配置をカバーしている。	・日による ・日によって職員の数に差があるので、困りごと・関わり方の度合いで活動内容を変更している
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	0		ホワイトボードや入室時に行う車のリストなどを支援スペース前に貼っておくなどし、児童本人が場面場面で何をすべきなのかを分かりやすく視覚化・構造化している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0	物の定位置を決めて、使った物はその日のうちに元に戻し、子ども達が分かりやすくなる。	原則その時に必要なものを以外はすべて倉庫などに入れておくようしており、都度必要なものは取りに行くようにする事で児童がその時やるべき事に集中できる環境作りを心掛けている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0		支援については個別支援計画に則りPDCAを上手く回していると感じるが、全体的な業務効率や改善という点ではまだ未着手な点も多い。今後改善できるような仕組みを構築していく。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0		毎年収集する保護者様からのアンケート結果を元に、職員同士で改善点などを話し合い改善できる部分については改善策を出し、それを実施している。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	0		・ホームページ等に公開されているかわからない。 ・パートアルバイトの方でも分かるように保護者様からの評価と自己評価をホームページにて公表している旨を社内共有していく。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3		コロナ禍の影響のため行っていない。 (第三者設置委員会の設置ができていない)
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	1		・研修を行っているかわからない。 ・虐待防止の研修など社員向けに行っているものはあるが、パートアルバイトの方が参加できる体制が取れていないので今後は研修を推進する。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0		送迎時などに最近のご自宅でのお子様の様子などをアプディングしており、その際に直近に課題などがあればそれを計画や支援に落とし込んでいる。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0		既存のツールがそこまで実用的なツールではないので、今後はよりお子様の状況を把握できるアセスメントツールを作成もしくは導入し、効率化を図る。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	1		児童発達支援のガイドラインについての主旨は社員には全体把握するよう啓蒙し、個別支援計画や支援内の活動に組み込み具体的な支援内容に落とし込めるよう努めている。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	今一番必要な事はなにかを職員同士で確認するようにしている。	計画に沿って支援を行っており、保護者様からも一定の評価を頂いている。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0		活動内容については毎月話し合いを元にある程度のプログラムのスケジュールを立ており、さらに日々の状況に応じて話し合いを行い、立案を行っている。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	毎日見直して継続するか発展させるか、それとも戻すかなど話し合いで決めている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4	0		一日のスケジュールで個別活動と集団活動をそれぞれ組み込んでおり、バランスよくそれぞれの活動ができる体制を取っており、個別支援計画にもそれを反映させている。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1	個別活動は個人ファイルを作り、パートアルバイトさんでもその中から課題を取り組めるように準備している。	送迎により打合せの時間がまとまって取れない。 メモなどの伝達方法などを考えて行っていく。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	1		送迎後、パートさんの帰る時間までに振り返りを行う事はなかなか難しいが、時間を決めてできるようにしていきたい。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	特別気になった事、変化が見られた時には日報に書くようにしている。	日々の支援記録は毎日必ず記録し、児童の様子に変化があった際は必ず記録を共有し、話し合いの元対策を立てようとしている。
20 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0		定期的なモニタリングは勿論、都度お子様の困った行動や保護者様のお悩みに応じて計画や支援内容を変更するなど柔軟な対応を心がけている。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0		担当者会議については原則児童発達支援管理責任者が参加するようにし、日々の児童の状況や様子については他職員からの意見なども参考にしながら会議に臨んでいる。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	0		市役所や相談支援事業所などの関係機関との連携は定期的に行っている。また、保育園や幼稚園などの機関とも都度情報交換などで連携を図っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	1		医療的ケア児、重症心身障害を持つ児童は現状は受入れていない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	1		医療的ケア児、重症心身障害を持つ児童は現状は受入れていない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	送迎時に必ず様子や困りごとを聞くようにしている。	お子様の園での様子や当事業所の様子などについては常に情報連携を行い、双方の支援や保育に支障をきたさないよう努めている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	0		教室を卒業し進級予定のお子様などについては、進級先の学校の先生などと事前に情報共有を行う場を設けるなどし、できるだけスムーズな移行ができるよう調整を図っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	1		・助言や研修を受けているのかわからない。 ・保育園や幼稚園とは頻りに情報交換等を行っているが、発達支援センターとの交流や助言を頂く機会はなかなか持てていない。今後コメントを取り交差を図っていきたい。 ・交流があるのかわからない。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	2		・保育園や幼稚園の先生との交流は頻りに行っているが、障害のない子どもとの関わりは多くない為、そちらも増やしていきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	2		・参加しているのかわからない。 ・担当者会議等は頻りに参加しているが、協議会等への参加は現状少ない。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0		連絡帳は勿論、送迎時に保護者様と対面で利用時のお子様の様子について詳細を共有できるよう努めている。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	3		ペアレント・トレーニングの知識を有する人材をなかなか輩出できていなかったが、今後研修などを通じて知識と実践を重ねて利用保護者へ提供できる体制を構築していく。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0		契約時等に保護者様にはできるだけ分かりやすく教室運営に関わる説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0		契約時や更新のタイミングで保護者様と支援内容の説明や目的、目標などを共有し、それに同意頂いた上で支援を行っている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0		定期的な個別相談会を実施し、保護者様の日ごろのお子様に関するお悩みや困りごと、進路・進級に関する事をお話できる場を提供し、必要な助言や支援を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	0		保護者の親睦を深める、情報共有を目的として、サロン(=父母の会)の開催を行い、定期的に保護者間での連携が取れるよう体制を整えている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0		保護者様から相談があった場合はできるだけ迅速かつ的確なアドバイスができるよう対応を統一化している。(児発管が一次対応を行い、難しい場合は管理者が対応を行う、等)
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0		保護者向けの会報を毎月発行し、情報提供を行っている。それと合わせる形で毎月のプログラムや行事予定を組み、共有するよう努めている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0		業務上不要になった個人情報については必ずシュレッターを用いて消去し、PC等の記録も不要なものは即時削除するよう努めている。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0		できるだけ平易なツールや言葉を使って分かりやすい情報伝達を心掛けている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	4		個人情報や保護者様のプライバシーの観点からなかなか地域ぐるみでの支援やイベントを行っていないのが現状。今後は保護者様の理解を得ると共に個人情報保護の徹底を図り、地
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	0		コロナウイルスのような感染症に対する対応マニュアルや災害などの緊急時におけるマニュアルは用意しているが、保護者様を含め徹底周知できているわけではないので、詳細を詰めて周知を行っていく。訓練については定期的に災害を想定した避難訓練を実施している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0		自然災害などを想定した避難訓練を定期的に行っており、会報を通して保護者様に様子をお伝えしている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	0		契約時に必ず服薬やアレルギー、持病などをヒアリングし、事前に対策を準備している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0		契約時に必ず食物アレルギーの有無を聴取し、アレルギーがある児童の場合は必ず医師の指示書に基づいて対応を行っている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0		パソコン内にヒヤリハット取集用のページを用意しており、いつでも編集・追記可能にして、閲覧も誰でもできるようにしている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0		・研修をしているのかわからない。 社員向けに虐待防止研修等は行っているが、パートアルバイトの方が参加できる体制が取れていないので今後実施を検討するつもり。 ・分からない。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	0		・身体拘束について暗黙の了解で何となくの認識になっている部分が多い為、会議等できちんとした組織としての方針を早急に決定し、保護者様をはじめとした関係各位に周知を行っている。	